

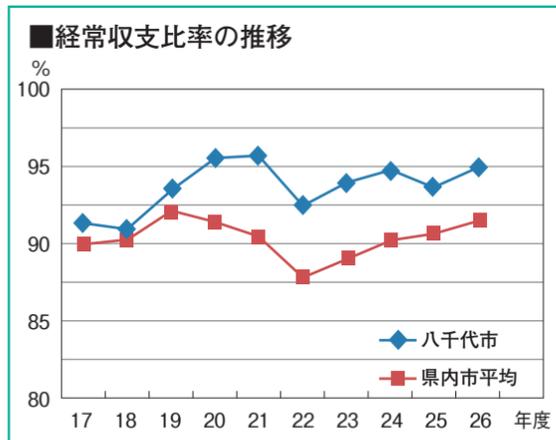
経常収支比率は94.9%に

地方税のように、使い道が限定されず、毎年度経常的に収入される財源（経常一般財源）に対して、義務的経費や物件費の一部などの毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）が占める割合を経常収支比率といいます。

家計で例えると毎月決まって入る収入のうち、食費や光熱水費、ローンの返済など、支払う必要がある生活費が占める割合に当たります。

この比率が高いほど財政的なゆとりがなくなくなり、投資的経費や新たな住民要望に使える財源が少なくなってしまうます。

市の経常収支比率は、23年度以降上昇傾向が見られ、25年度に若干改善しましたが、26年度には94.9パーセントと再び上昇に転じました。



特別会計

特別会計は、次表のように保険料や使用料などの特定の収入がある事業ごとに会計を設け、一般会計と分けて経理することで、収支を明確にしているものです。

区分	歳入(対前年度比)	歳出(対前年度比)
(1)国民健康保険事業	200億8,312万円 (5.6%増)	192億5,216万円 (2.3%増)
(2)介護保険事業	95億8,263万円 (7.9%増)	94億5,262万円 (6.9%増)
(3)墓地事業	1億1,803万円 (13.9%減)	1億1,741万円 (10.3%減)
(4)後期高齢者医療	17億5,684万円 (7.5%増)	17億4,900万円 (7.7%増)
合計	315億4,062万円	305億7,119万円

市ホームページで資料などを公表しています

市ホームページでは、決算の概要に加え、年度ごとの予算の概要や編成過程、各種分析資料などを公表しています。一般・特別会計については、トップページから「市政情報」→「財政・会計」へ、公営企業会計については、トップページから「八千代市上下水道局」→「上水道(または下水道)」へ。

公営企業会計

水道事業・公共下水道事業は、企業会計で経理され、独立採算制を採っています。経営に要する費用は、水道料金・下水道使用料などの事業収益で賄っています。内訳は、当該年度の経営活動に伴う収支である収益的収支と、施設の建設や改良などのための収支である資本的収支に分かれます。

水道事業会計

■収支 ※税込額

区分	収入(対前年度比)	支出(対前年度比)
収益的収支	40億4,096万円 (10.8%増)	37億2,005万円 (17.6%増)
資本的収支	14億5,067万円 (26.4%増)	32億9,396万円 (24.6%増)

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額18億4,329万円は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

■貸借対照表(27年3月31日現在) ※税抜額

資産の部(対前年度比)		負債の部(対前年度比)	
固定資産	361億1,194万円 (10.6%減)	固定負債	119億1,572万円 (25,607.6%増)
流動資産	28億6,893万円 (16.1%減)	流動負債	6億8,286万円 (221.2%増)
		繰延収益	102億9,124万円 (皆増)
		負債合計	228億8,982万円 (8,739.9%増)
		資本の部(対前年度比)	
		資本金	120億6,548万円 (49.3%減)
		剰余金	40億2,557万円 (79.6%減)
		資本合計	160億9,105万円 (63.0%減)
資産合計	389億8,087万円 (11.0%減)	負債・資本合計	389億8,087万円 (11.0%減)

■損益計算書 ※税抜額

【収益の部】37億3,819万円

営業収益(水道料金など)	29億5,440万円
営業外収益(長期前受金戻入など)	7億8,379万円

【費用の部】35億9,897万円

営業費用(減価償却費、受水費、委託料、動力費、人件費など)	30億4,030万円
営業外費用(支払利息など)	2億5,344万円
特別損失(退職給付引当金など)	3億523万円
純利益	1億3,922万円

公共下水道事業会計

■収支 ※税込額

区分	収入(対前年度比)	支出(対前年度比)
収益的収支	33億9,786万円 (23.2%増)	34億1,982万円 (17.6%増)
資本的収支	7億5,704万円 (14.2%増)	15億5,216万円 (0.6%増)

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額7億9,512万円は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

■貸借対照表(27年3月31日現在) ※税抜額

資産の部(対前年度比)		負債の部(対前年度比)	
固定資産	399億3,639万円 (7.2%減)	固定負債	87億3,109万円 (皆増)
流動資産	3億7,834万円 (2.4%増)	流動負債	8億7,111万円 (743.7%増)
		繰延収益	187億7,389万円 (皆増)
		負債合計	283億7,609万円 (27,384.0%増)
		資本の部(対前年度比)	
		資本金	105億2,157万円 (48.2%減)
		剰余金	14億1,707万円 (93.8%減)
		資本合計	119億3,864万円 (72.4%減)
資産合計	403億1,473万円 (7.1%減)	負債・資本合計	403億1,473万円 (7.1%減)

■損益計算書 ※税抜額

【収益の部】32億3,966万円 純損失4,564万円

営業収益(下水道使用料など)	24億9,772万円
営業外収益(長期前受金戻入など)	7億4,194万円

【費用の部】32億8,530万円

営業費用(減価償却費、流域下水道維持管理費負担金、人件費、委託料など)	29億5,655万円
営業外費用(支払利息など)	2億7,378万円
特別損失(退職給付引当金など)	5,497万円

関係書類の閲覧やお問い合わせ

一般・特別会計は 財政課 ☎483-1151(代表)
公営企業会計は 経営企画課 ☎483-6155(代表)

広告